

MULTIPLEX

Micro JET RR マイクロジェット RR 組み立て補助説明書

当説明書は、キットに同梱されている日本語の組み立て補助説明書も参照しながらお読みください。

この度はマルチプレックス社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。ラジコン飛行機は取扱いを誤ると自分、及び他人に危害を及ぼす可能性が常にある事を忘れずに最大限の注意を払い、飛行をお楽しみください。また必ずラジコン保険に加入して万一の事故に備えてください。

警告 注意 安全のための確認

- 1) 本機体は操縦が難しく高速で飛行する上級者向けの機体で、入門者の単独飛行は困難です。経験のあるフライヤーに指導を仰いでください。
- 2) 各フライト前には必ず各部を慎重に点検してください。モーターとプロペラの取り付け、翼の取り付け状態、重心位置の確認、各舵の動作状況、無線機のチェック等、安全に配慮した機体の点検を怠らないでください。特に飛行場に到着した時や激しい着陸の後は翼がズレたり搭載物が移動している可能性があります。
- 3) 動力用のバッテリーのコネクターを接続する前に必ず送信機のスイッチを ON にしてモーターコントロールスティック等が必ず OFF 状態にある事を確認してから機体側の動力用バッテリーを接続してください。守らないと最悪の場合、勝手にモーターが回転して危険な状態になります。モーターのスピードコントローラーの取扱いにも熟知してください。
- 4) 機体を持つ時は受信機スイッチの ON - OFF に関わらず、プロペラに触れないように保持してください。万一のプロペラの回転に注意してください。
- 5) 機体を手投げする時は人に向けてはいけません。人を背後にした向きで手投げしてください。飛行中は人や建物、動物に向けて飛行させてはいけません。
- 6) 本機体はプロペラが後方にあるプッシャータイプです。手投げの時は決してプロペラが手に触れないように注意して手投げしてください。
- 7) 飛行後のモーターは高温になっています。必ずモーターが冷えてから次の飛行を行なってください。熱いうちに飛行させますとモーターの寿命が短くなりパワーが低下します。モーターの温度を確かめるときに火傷に注意してください。
- 8) 機体は高温になる場所に保管しないでください、変形して各部の角度が狂い正常な飛行ができなくなり危険です。特に夏期の車中にはご注意ください。

RRキットとは？

当製品はキットのマイクロジェットがほとんど組み立てられた状態にサーボを搭載し
リンケージ作業もほぼ完了している製品です。あとは受信機とバッテリーを搭載して
少しの組み立てとリンケージ調整で短時間に飛行が可能になります。

RR パーツのチェック

下記の内容リストの各パーツを確認してください。

もし欠品や破損品がある場合は、ハイテックマルチプレックスジャパン迄ご連絡ください。

名称	個数
組立サーボ搭載済 機体	1
垂直尾翼 右	1
垂直尾翼 左	1
各国語キット説明書	1
各国語 RR説明書	1
日本語キット説明書	1
日本語 RR説明書	1
デカール	1
X - 08 スピコン説明書	1
1.5mm 六角レンチ	1
両面テープ(垂直尾翼固定用)	2

推奨搭載メカ等

- ・送信機: 3ch以上のエレボン(エレベーター+エルロン)機能を有する送信機
又はVテールミキサー+通常の3ch以上の送信機
- ・受信機: Hitec Micro 05S 重量8.6g
- ・動力用バッテリー: 6セル600mAh~7セル500mAh Ni-cd、Ni-MH

機体データ

- ・全長 545mm
- ・全幅 580mm
- ・翼面積 12.4 dm²
- ・重量 450g
- ・翼面荷重 36g dm²
- ・モーター Permax400
- ・搭載済サーボ Hitec HS-55(NanoS) × 2
- ・搭載済スピードコントローラー: ESC X-08 (8A)

接着剤

当製品のメイン素材はEPP系のELAPOR Formです。EPPに似てシンナー溶剤には溶けにくい性質がありますのでELAPOR Form同士の接着にはEPP専用接着剤を推奨します。

接着面は成型のスキン効果のある表面を削り落とす意味で必ずサンディングをして表面を荒らしてください。硬化しても多少弾力のある接着剤の方が有効です。

硬化して固くなるエポキシ接着剤は適しません。ELAPOR Form以外のバキュームプラスチックや成型プラ部品は中粘度の瞬間接着剤(プラ側)と硬化促進剤(ELAPOR Form側)が有効です。ELAPOR Form側は硬化促進剤を塗布する前にエンジンシンナーで表面を荒らしてください。

以下は各国語版のキット説明書のイラストを参照しながら説明します。

STEP 1 垂直尾翼の取り付け (各国語版キット説明書 P18 の Abb18 参照)

同梱の両面テープを垂直尾翼の底に形状をカットして貼り、胴体に押し込みます。強度が心配なお客様は接着してください。

STEP 2 エレボン舵角の調整 (各国語版キット説明書 P32 参照)

エレベーター操作のアップで舵面後縁にて上12ミリ、ダウンで下10ミリに設定してください。エレベーターの最大舵角はこれより各3ミリ以内を推奨します。

これ以上では舵面が失速する恐れがあります。

エルロン操作では上下それぞれ5ミリに設定します(エルロンデファレンシャルは不要)。

STEP 3 重心位置の確認 (各国語版キット説明書 P32 参照)

翼の下面に重心位置の突起があります。そこに正確に重心がくるようにメカを移動して慎重に合わせてください。

STEP 4 デカールの貼り方 (各国語版キット説明書 P32参照)

本機体の素材はシールの糊が乗りにくい素材です。先にエンジンシンナー等で十分に拭いて表面をクリヤーにします。(最大30秒以内)

手投げのヒント

この機体はうまく手投げしないと失速してしまいます。無理に上向きに投げずに水平に押し出す感覚で勢い良く手投げします。機速を殺さずに手投げするには熟練が必要です。手投げ時にミキシングが可能な送信機であれば、エレベーターをアップ側に2ミリオフセットすると楽です。上空に達したらミキシングは解除してください。

機体は低速では失速しやすいので速度を殺さないように注意して飛行してください。

株式会社 ハイテックマルチプレックスジャパン <http://www.hitecrd.co.jp>
〒140-0012 東京都品川区勝島1-4-19-507
03-5767-6300、050-5519-4989 support@hitecrd.co.jp

当製品は改良の為に予告なく内容を変更することがあります、予めご了承ください。